

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	みどりのき					公表日	R6年 12月 10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		・国の基準よりも多くなるよう職員を配置している		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		・十分バリアフリー化されている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		・活動内容によって空間を分ける工夫をしている。 ・毎日清掃と消毒を行っている。 ・掃除の仕方や流れについてはチーム全体で共有され、高い意識を持って取り組んでいる。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		・突発的な興奮などがあった場合は、個室でクールダウンできるように支援している。 ・興奮してしまう利用者や個別の部屋で活動したい利用者は別室で対応できるようになっている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	5	勤務体系の都合上、全職員が参画できていないが、業務改善を進めている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		毎年自己評価を実施して業務改善につなげている。 ・保護者からのご意見ご要望を把握して業務改善に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	自己評価や日々の業務の中で出た意見を話し合い、業務改善につなげている。	職員の意見等を把握する機会そのものが少なく感じる。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	8			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	2	・毎月職員研修が開かれている。	・年に1、2回程度職員研修開催の理由に営業を休止するなどの取り組みがあっても良い	
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		・児童一人ひとりにアセスメントを行い、課題やニーズを反映して計画作成している。	・誰がいつどのように支援プログラムに関わるのかがやや分かりづらい。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		・日々の申し送りや支援記録を通して共通理解の下で考慮した検討が行われている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		・職員がいつでも閲覧できるように整えてあり、内容を把握できるようになっている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		・申し送りや支援記録で確認し、共有している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		・定期的にアセスメントを行い、本人や保護者のニーズに合った個別支援計画を作成している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1	・季節ごとの活動やイベントを行っている。 ・季節ごとのイベントや制作活動、クッキングクラブ等を取り入れている。	・事業所内職員にアンケートを取り、幅広く意見を募る必要性を感じる	

提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・全員での打ち合わせはできていないが、ノート等で情報共有している。 ・業務分担表で役割を確認し、連絡事項は申し送りノートで共有している。 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず打ち合わせは実施していないが後日行っている。 ・申し送りノートにその日の出来事や共有すべき連絡事項を記入し、情報共有に努めている。 	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・活動記録を細かく戸っており、モニタリングや計画作成時に役立てている。 	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・すべての児童に向けて見直しを行っている。 	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	6	4		<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流の活動については組み合わせが出来ていない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・自主性を尊重している。 ・制作活動や個別で活動する時に選択肢を提示して自分で選べるようにしている。 	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・学校、市の説明会に参加している。 	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・責任者が連携し、それを共有している。 	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後にスムーズに移行できるよう情報提供を行っている。 	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		10		<ul style="list-style-type: none"> ・そうした取り組みや活動についてはその内容や実績についてもっと内外に発信しても良い
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		10		<ul style="list-style-type: none"> ・交流していない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・お迎え時に事業所での様子をお伝えし、保護者との情報共有を行っている。 	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		10		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍以前はペアレントトレーニングを行っていたが、コロナ禍以降行っていない。 	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に自発管、相談員、その他職員が同席して行っている。 	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・本院や保護者からニーズを聞き出し、それに基づいた個別支援計画を作成し、支援ができるように努めている。 	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		・休日の受け入れ時や、お迎え時に保護者からの悩みがあれば聞き取り、相互理解に努めている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		10		・父母の会は実施していない。ニーズを把握し、父母会が必要かどうかを検討する。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		・適切に対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10		・行事予定や活動内容の写真を掲載したお便りを月に一回通信を発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		10		・地域に向けてのイベントは行っていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		・発生を想定した訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		・BCPを策定している。定期的に各訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10		・職員全員が理解できるようにしている。 ・契約前の聞き取り時や通院した話を聞いた場合は服薬に変わりがないか確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	6	・アレルギーのある児童に対しては定期的に保護者に確認している。	・指示書がないか家族に確認している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		・ヒヤリハット報告書を作成し、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	1	職員研修の中で虐待防止研修を実施している。	・職員の利用者に対する不適切な関わり問題となった事例等について検討、話し合う機会の場が少ない。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	7		・現在は対象となる児童はいない。 ・今後必要性が出てくる場合には保護者に説明し、了解を得たうえで計画に記載していく。	